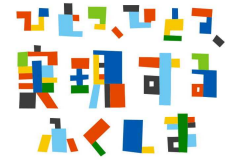


主要な農作物の生育情報

令和5年度 第3号

(令和5年6月9日現在)

福島県農林水産部農業振興課



【作物】

1 水稲

水稲の移植作業は、始期が平年より1日早い5月7日、盛期が平年並の5月15日、終期が平年より1日遅い5月27日となりました。

6月6日現在の農業総合センターの生育調査では、草丈は本部（郡山市）と浜地域研究所（相馬市）が平年並からやや短く、会津地域研究所（会津坂下町）が長くなっています。茎数は、各地域とも、平年並からやや少なくなっています。主稈葉数は、本部が平年よりやや少なく、会津地域研と浜地域研究所が平年並となっています。

表1 農業総合センターにおける水稲の生育状況

調査場所	品 種	移植期 (月.日)	6月6日調査		
			草丈 (cm)	茎数 (本/m ²)	主稈葉数 (枚)
本 部	コシヒカリ	5.15	24.8 (94%)	176 (90%)	5.5 (-0.2)
	ひとめぼれ	5.15	22.8 (95%)	205 (98%)	5.5 (-0.3)
会津地域 研 究 所	コシヒカリ	5.18	32.2 (115%)	172 (96%)	6.1 (+0.1)
	ひとめぼれ	5.18	29.5 (114%)	185 (97%)	6.2 (+0.1)
浜 地 域 研 究 所	コシヒカリ	5.10	28.9 (99%)	304 (96%)	6.4 (-0.1)
	ひとめぼれ	5.10	26.2 (95%)	374 (103%)	6.7 (+0.2)

注1) 調査場所は、本部が郡山市、会津地域研究所が会津坂下町、浜地域研究所が相馬市

注2) 括弧内の数字は、会津地域研のコシヒカリでは前4年平均(2018~2021年)、それ以外では前5年平均(2018~2022年の平均値)との比較を表す。

2 小麦（農業総合センターにおける生育状況）

各調査場所の出穂期は、平年より7~11日早くなりました。

【野菜】

1 夏秋きゅうり

県中地方では、露地栽培の定植が5月中旬から下旬にかけて行われています。県北地方では、雨よけ栽培の定植が4月下旬から行われ、5月下旬より収穫が開始されています。側枝の発生は順調ですが、一部のほ場で、高温により葉焼けや芯焼け、草勢低下が見られています。

病害虫は、一部のほ場でアブラムシ類やアザミウマ類の発生が見られています。

2 トマト

県南地方では、4月下旬から5月上旬に定植が行われ、3~4段果房が開花し、高温により、しおれや葉焼けが発生しているほ場も見られますが、生育は概ね順調に進んでいます。南会津地方では、定植は5月下旬から6月上旬にかけて行われています。

病害虫は、一部でアザミウマ類の発生が見られています。

3 さやいんげん

県中地方、会津地方では、露地栽培の定植が5月中旬から行われています。

病害虫は、一部のほ場でアブラムシ類の発生が見られています。

4 ピーマン

県中地方では、トンネル栽培は4月下旬から5月上旬にかけて行われ、3番花が開花しており、生育は順調に進んでいます。露地栽培は5月下旬から定植が行われています。

病害虫は、一部でアブラムシ類の発生が見られています。

5 春ブロッコリー

相双地方の3月中旬定植ほ場では、生育がやや早まり6月上旬より出荷が開始されています。4月上旬定植ほ場では、やや生育が遅れていますが、収穫のピークは平年並の6月中旬になる見込みです。

【果 樹】（福島県農業総合センター果樹研究所における6月5日現在の生育概況）

1 もも

果実肥大を暦日で比較すると、「あかつき」は縦径が42.1mm（平年比119%）、側径が37.8mm（平年比134%）、「ゆうぞら」は縦径が42.9mm（平年比121%）、側径が35.0mm（平年比133%）と、両品種とも平年より大きい状況です。

また、「あかつき」における硬核期開始は、5月31日で平年より9日早くなりました。

2 なし

果実肥大を暦日で比較すると、「幸水」は縦径が27.5mm（平年比124%）、横径が31.7mm（平年比127%）、「豊水」は縦径が30.2mm（平年比125%）、横径が32.3mm（平年比129%）と、両品種とも平年より大きい状況です。

3 りんご

果実肥大を暦日で比較すると、「つがる」は縦径が36.4mm（平年比119%）、横径が38.0mm（平年比123%）、「ふじ」は縦径が37.1mm（平年比131%）、横径が36.1mm（平年比138%）と、両品種とも平年より大きい状況です。

4 病害虫の発生

モモせん孔細菌病、ナシ黒星病の発生が一部で確認されるため、梅雨期に向けて果樹情報等を発行して注意を喚起し、現地における耕種の防除や防除対策の徹底を図っています。

【花 き】

1 キク類

8月咲きは、草丈が平年並からやや高くなっており、順調に生育しています。

9月咲きは、定植が平年並の5月中旬から下旬にかけて行われ、摘心等の作業についても概ね順調に進んでいます。

病害虫は、白さび病とアブラムシ類、ハモグリバエ類の発生が、一部で見られています。

2 リンドウ

生育は、草丈が平年並から2割程度高く、節数が平年並から1割程度多くなっています。なお、早生品種の側芽発生期は、平年並からやや早い見込みです。

葉枯病とハダニ類、リンドウホソハマキの発生が続いています。加えて、アザミウマ類と灰色かび病、黒斑病が一部地域で発生しています。

【飼料作物】

牧草は順調に生育しています。一番草は5月中旬から収穫期を迎え、現在収穫作業が行われています。収量は概ね平年並となる見込みです。

飼料用トウモロコシは4月中旬から始まった播種作業がほぼ終わり、順調に生育しています。

© 防霜対策については、福島県農林水産部農業振興課（ホームページ）

<https://www.pref.fukushima.lg.jp/sec/36021a/nogyo-nousin-gi-jyutu03.html#kisyuu> 等を活用し、適切に対応してください。

◎ 病害虫の発生状況や防除情報については、病害虫発生予察情報（ホームページ）
<https://www.pref.fukushima.lg.jp/sec/37200b/> 等を活用し、適切に対応しましょう。

発行：福島県農林水産部農業振興課 TEL(024)521-7344

<https://www.pref.fukushima.lg.jp/sec/36021a/nogyo-nousin-gijyutu03.html#seiikujoyouhou>